

緑と土と太陽

テーマ：「楽しい学校」を目指して
かがやけ港っこ！



佐世保市立港小学校

特色ある学校づくり推進会

会長 重村 誠一郎

所在地：佐世保市天神町1603番地

児童数：225名

学級数：14学級

1 テーマ 「楽しい学校」を目指して かがやけ港っこ！

2 目的

(1) 学力向上を目指し、学びに向かう主体的態度を養う教育の実践（全学年・通年）

(2) 体験的学習の充実

3 実践内容

(1) 学力向上を目指し、学びに向かう主体的態度を養う教育の実践（全学年・通年）

① 校内研修を中軸とした授業改善の推進

校内研修で「個別最適な学びと「協働的な学び」のある算数科の授業づくりを行った。タブレット端末を利用した授業づくりや、研究協議の際にも jamboard 機能を活用して効率化を図った。

② 習熟度別学習による算数科学力の向上（4～6学年・通年）

個人の学力差に対応するために、4年生以上において少人数指導を実施した。その結果、教師の関わりが個々に届くようになり、基礎基本の学習理解を深めることができた。さらに、新学習指導要領に対応した補助教材を活用し、基礎的な学習事項の習熟を図った。

③ 標準学力検査の実施（全学年・12月）

①②の成果及び更なる課題を把握し、次年度の学習指導へと繋げるため、標準学力検査を実施した。情報を次年度担任へ引き継ぐために分析を行っている。

(2) 体験的学習の充実

①EM菌を使った土づくり（5年生 6月～12月）

環境学習の一環として、5年生の総合的な学習の時間に実施した。「環境美化を考える会」の方にご協力いただき、EM菌を使った土づくりを行った。その後、大根の栽培を行い、収穫や調理に至る体験活動を実施した。宿泊体験活動などとも関連を持たせ、環境について考える良い機会となった。

②大谷翔平選手寄贈グローブを活用した体験活動（全学年 2～3月）

メジャーリーガー、大谷翔平選手より寄贈されたグローブの活用方法を検討し、児童の安全面を配慮したバットとボールを購入した。全学級で順番に使えるよう場を設定し、野球にとどまらず、運動の楽しみや将来の目標について振り返る機会となった。

③思春期講座の実施（6年生・保護者 10月）

外部講師を招き、思春期講座を開催した。前半は児童へ向けて、後半は保護者向けに講話をしていただいた。児童と保護者の双方にとっては、自分たちの心の変化について考えたり、悩みを共有したりする有意義な時間となった。

④薬物乱用防止教室の実施（6年生・11月）

外部講師を招き、薬物乱用防止教室を開催した。日常生活で薬物のについて知識を得る機会が少ないため、児童は驚きとともにその危険性について知る貴重な機会となった。

⑤もちつき大会の実施（全学年・1月 ※週休日のため自由参加）

育友会・親父の会の協力を得てもちつき大会を実施した。コロナ禍を経て、地域や保護者同士の繋がりを取り戻すためのきっかけとなる行事とすることができた。

4 成 果

（1）学力向上を目指し、学びに向かう主体的態度を養う教育の実践

- 本校の学力状況を把握し、課題の克服のための具体的方策をとるために効果があった。また、jamboard を活用した校内研修の充実により、教職員間で成果と課題についてより早く、正確に共通理解を図ることができるようになった。ICT を活用した授業づくりは日常の風景になりつつあり、教職員の業務効率化も進んでいる。

（2）体験的学習の充実

- コロナによる活動の制限が解除され、必要な感染症対策を講じながら、コロナ禍前の水準での活動が実施できるようになった。実物に触れたり、実際に体を動かしたり、専門家から直接話を聞いたりといった体験による教育効果を様々な面で感じることもできた。

5 今後の課題

- 学力については、実態把握をすることで、本校の学力課題が明確になった。課題克服に向け、授業改善の視点をより明確にして取り組むことが今後さらに重要となってくると考えられる。
- 体験活動の設定（対象学年・時期・カリキュラムとの連動）については引き続き検討が必要である。